

WGの進め方について

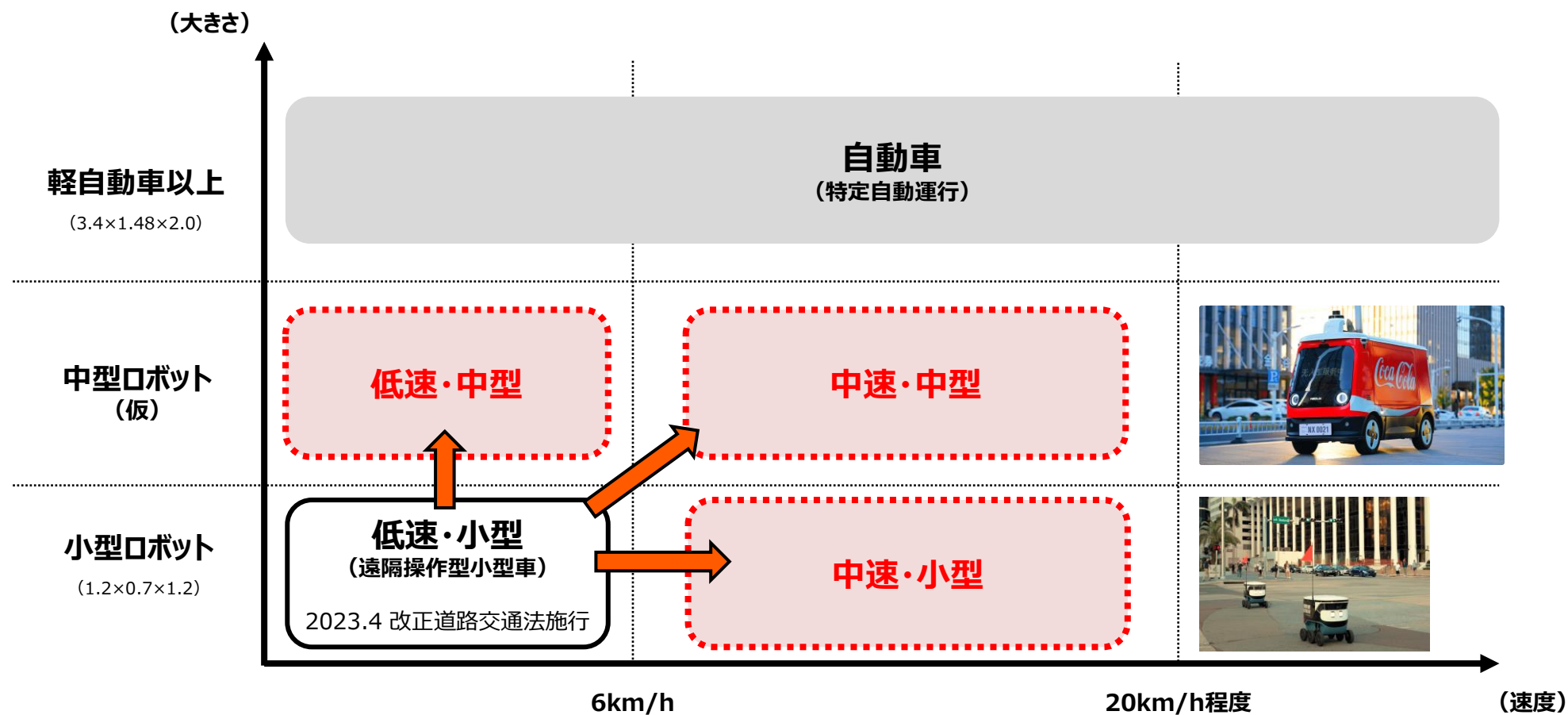
令和6年7月17日

経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 AI・ロボット部

「より配送能力の高い自動配送ロボット」とは

- 低速・小型ロボットは、23年4月の改正道路交通法施行により、社会実装段階へと移行。
- 物流分野における深刻な人手不足等を背景に、積載量や配送効率の向上のため、低速・小型より配送能力の高い「中速・中型」や「中速・小型」の社会実装が望まれる。



社会実装に向けた全体像

- 実証実験の積み重ねと並行して、目指すべき姿やルールに関する議論（取組③）や、必要な技術に関する議論（取組④）を進めることも重要。
- 当該WGにおいては、取組③の内容をメインとして取扱い、議論を進めることとしたい。

取組① 社会実装を目指す意義の共通認識の形成

取組② 実証実験の積み重ね

取組③ 目指すべき姿やルールに関する共通認識の形成

「より配送能力が高い自動配送ロボット」の目指すべき姿

目指すべき姿に関する各論点の議論

ルール整備の大きな方向性を整理

議論への反映



検証内容の精緻化

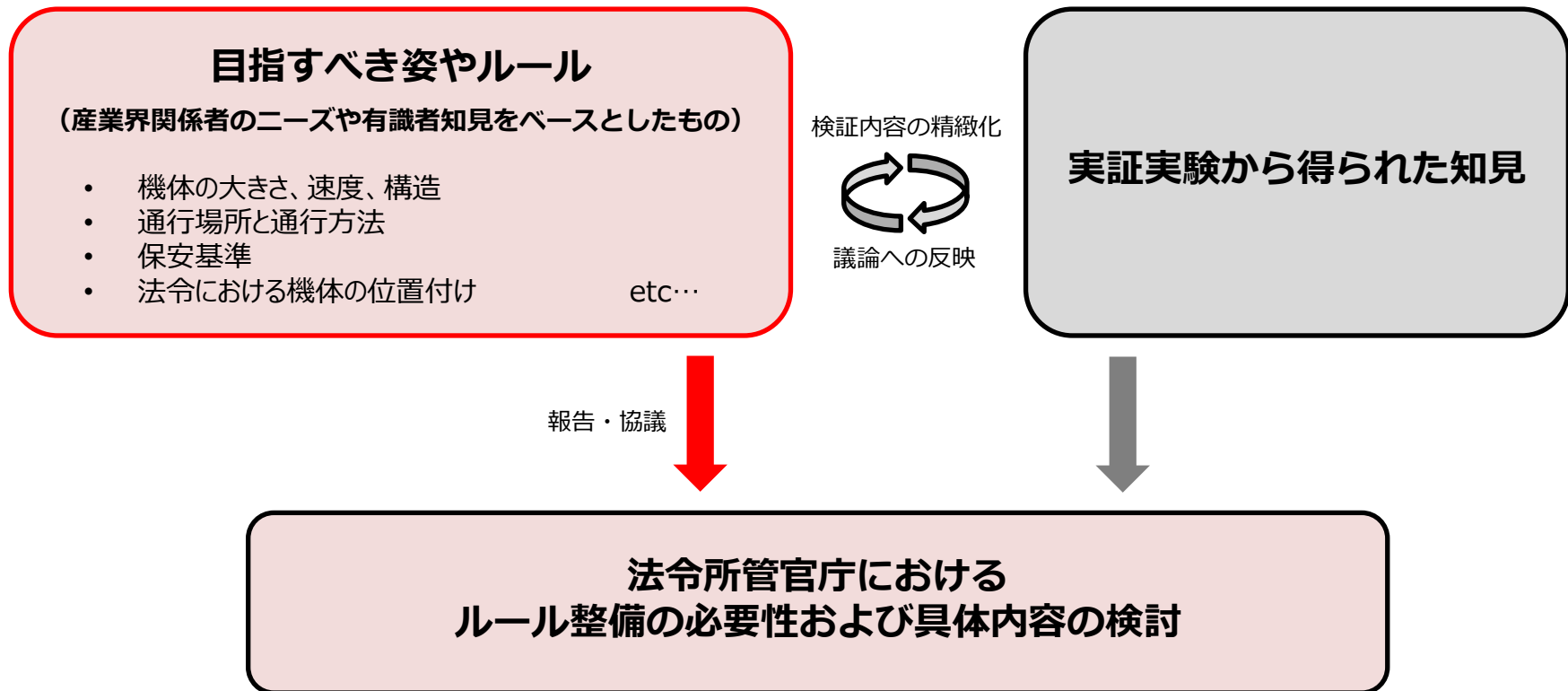
取組④ 必要な技術水準・開発内容に関する 共通認識の形成

取組⑤ ルール整備の必要性
および
具体内容の検討

WGの想定アウトプット

- 想定するユースケースを実現させるため、産業界関係者のニーズや有識者知見をベースとした「目指すべき姿やルール」について、とりまとめを行う。
- とりまとめ結果をもって、法令所管官庁も交えた今後の議論に繋げていく。

得たいアウトプット



WGスケジュール（案）

- 計4回のWG開催により、2025年1月後半をめぐり議論のとりまとめを行う。
- 昨年度調査を実施した中速・中型に関する議論を先行させる。中速・小型については、今年度追加調査を実施しながら議論を進める。

	開催時期	主な議論内容	
		中速・中型	中速・小型
第1回	2024年 7月17日（水）	<ul style="list-style-type: none"> • 大きさと速度 • 通行場所と通行方法 • 運用方法（遠隔操作 or 自動運転） 	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度の追加調査案（海外法令、ユースケース等）
第2回	2024年 9月25日（水）	<ul style="list-style-type: none"> • 構造（最大積載量、定格出力など） • 保安基準、リスク • 法令における機体の位置付け • その他論点（インフラ・税など） 	<ul style="list-style-type: none"> • 大きさと速度 • 通行場所と通行方法 • 運用方法（遠隔操作 or 自動運転）
第3回	2024年11月後半頃	<ul style="list-style-type: none"> • 中間とりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> • 構造（最大積載量、定格出力など） • 保安基準、リスク • 法令における機体の位置付け • その他論点（インフラ・税など） • 中間とりまとめ
第4回	2025年 1月後半頃	<u>最終とりまとめ</u>	
その後	2025年 3月頃	<u>第10回「自動走行ロボットを活用した配送の実現に向けた官民協議会」の議事にて、関係省庁等に報告</u>	